

# 秘書学論集

---

平成4年3月

## 目次

### <論文>

大学改革と秘書教育

— カリキュラム変革の視点から — ..... 森脇道子 3

秘書教育における情報教育

— その位置づけと役割 — ..... 齋藤勇二, 渡辺裕一 19

### <報告>

法律秘書試論(Ⅲ)

— 法律秘書養成カリキュラム試案 — ..... 植竹由美子 29

### <研究ノート>

「女性秘書」に求められる「女性性」・「主婦性」再考

— 「カウンター・パートナーシップ」論 — ..... 篠原 收 45

No.10 1992

---

日本秘書学会

## 編集後記

シングルベルの余韻の残る昨年12月25・26の両日、本論集編集の会議をもちました。

森脇道子先生の「大学改革と秘書教育 — カリキュラム変革の視点から —」は、昨年7月1日の短期大学設置基準大綱化にともなう新しい試みについて述べたものです。まことに時宜に適したものであり、必ずや各短大の方々に大いに参考になるものと確信しています。

斉藤勇二・渡辺裕一両先生の「秘書教育における情報教育 — 位置づけと役割 —」は、従来断片的に個々に述べられてきた秘書教育における情報教育をトータルな形で扱っております。

植竹由美子先生の「法律秘書試論（Ⅲ） — 法律秘書養成カリキュラム試案 —」は、従来の研究の継続です。今回は副題に示してあるように、教授要目をくわしく述べてあります。

篠原收先生の「『女性秘書』に求められる『女性性』・『主婦性』再考 — カウンター・パートナーシップ論 —」は、女性秘書を正面からとりあげ、女性性、主婦性を論じ、カウンター・パートナーシップという新しい概念を提起しております。従来と異なった視点からの考察です。

今回は数は少ないですが、内容は充実したものになっています。「山椒は小粒でもピリリと辛い」といったところでしょう。

しかし正直なところ、もう少し本数があったらと思うのは、私一人のみではないと思います。

日々の教育実践や研究活動の中から問題を見つけ出し、それを速成せずに十分に発酵させてから、ブロック研究会などで口頭発表して、多くの人々の批判をうけて、更に検討を加えて、論文に仕上げていく、こういったコツコツと積みあげる地道な努力が必要です。今後どしどし投稿する方が出てきてほしいと念じております。

本論集も10号を数えるところまでできました。これを区切りに、更に新しい視点に立っての斬新な論文の出現を切に願う次第です。（福永）

■編集委員 福永弘之（委員長）、岡田 聚、佐藤啓子、佐藤東九男、田中篤子、中佐古勇、吉田寛治

秘書学論集

No.10 1992

平成4年3月発行

発行 日本秘書学会編集委員会

〒004 札幌市豊平区清田4条1丁目4番1号

静修短期大学内

TEL (011) 883-2490

制作 (株) 共同印刷

TEL (011) 241-9341(代)

JAPAN  
SECRETARIAL SCIENCE REVIEW

---

No.10

March 1992

Contents

<Articles>

Developments in Higher Education and Secretarial Education

— From the Viewpoint of Reforming Curriculum —

.....Michiko MORIWAKI 3

A New Way of Teaching Information Processing to Secretarial Students

.....Yuji SAITO, Yuichi WATANABE 19

---

<Reports>

A Tentative Proposal for the Curriculum of Legal Secretarial Courses

.....Yumiko UETAKE 29

---

<Study Notes>

Femine & Housewifely Characteristics of the Female Secretary

— “Counter-partnership” —

.....Osamu SHINOHARA 45